

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	王滝村・長野県立大学包括連携事業「ひろがれ！推し村プロジェクト」
事業主体 (連絡先)	王滝村 TEL：0264-48-2001
事業区分	(1) 地域協働の推進 (3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	541,412 円 (うち支援金：433,000 円)

事業内容

王滝村と包括連携協定を結んでいる長野県立大学の学生が来村。9月から3月にかけて13人が延べ86泊した。

来村中は、王滝小学校の笑楽祭参加、伝統野菜の赤かぶ漬けとすんき文化の理解、観光スポット(清滝、スキー場)の訪問、王滝村談義(村民との対話の場)の開催、地域行事の参加などの様々な活動を行った。

また、3月には村民と一緒に下流域の干物をみんなで食すイベント「干物焼いたらめでタイね」を開催。約35名の参加となった。イベントでは子どもから高齢者まで幅広い年齢層の交流となり、新たな地域コミュニティー創出の場となった。



【王滝村談義】

【目標・ねらい】

- ① 新たな関係人口の創出
- ② 地域コミュニティーの活性化
- ③ 新たな村の魅力発見

事業効果

① 新たな関係人口の創出

大学生がこの事業をきっかけに、初めて王滝村を知った人がほとんどだった。そんな彼ら自身が「関係人口」となることができ、村と継続的な関わりを築くことができた。

② 地域コミュニティーの活性化

小学校の笑楽祭への参加、王滝村談義の開催などを通じて、学生と住民が対話できたことは、若年世代が少ない当村において、特に小学生にとってはとても刺激になった。

③ 新たな村の魅力発見

学生ならではの新しい視点で村の魅力を発見でき、それを住民と共有することで村民の郷土愛の熟成が図られた。

※自己評価【A】

【理由】

活動報告会には予想を上回る約30人が集まった。様々な活動を通じて学生と村民のコミュニティーが生まれ活気が生まれた。また学生自身が関係人口となることができた。

今後の取り組み

今後も継続して新たな学生の受入れを行う。

学生の1回あたりの村への滞在を2週間程度とし、長期滞在することで学生自身がイベントの企画・運営・開催を行い、次の関係人口創出を図る。

さらに学生が学校で学んでいることを村の事業者や団体と相互に共有、勉強しながら地域力を上げる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある